

第 39 期

定期株主総会資料

期 日：平成21年 9 月30日(水)
午後 3 時

場 所：望岳荘

上伊那郡中川村大草4489番地

中川観光開発株式会社

定期株主総会次第

1 開 会 の 辞

2 代表取締役挨拶

3 議 長 選 任

4 議 事

第1号議案 第39期事業報告並びに決算の承認について

- ・貸借対照表・損益計算書
- ・株主資本等変動計算書・損失処理計算書
- ・監査報告書

第2号議案 第40期事業計画(案)について

第3号議案 取締役及び監査役報酬限度額の決定について

第4号議案 取締役の改選について

5 閉 会 の 辞

第1号議案

第39期 自 平成20年7月1日 事業報告
至 平成21年6月30日

世界的不況のあおりを受け、日本経済を取り巻く環境も悪化し、底の見えない不安が世の中に広がり、ここ数年で最も消費意欲が低下しております。

当社の事業である宿泊・飲食業は、不況時に消費者が一番財布の紐を固くする業界の一つで、同業他社も規模の大小を問わず顧客獲得に苦しんでおります。

そのような中、当社も苦戦を強いられ、売上高180,652千円と（前期比97.1%）と昨年に続き前期を下回る結果となりました。地元のお客様の利用の多い『その他』部門が46,964千円（同比105.9%）と上向いている以外、『宿泊』部門が67,654千円（同比96.6%）、『宴会』部門が52,471千円（同比89.2%）と落ち込んでおります。特に宴会部門は昨年に引き続き2期連続して減少しており、今後、料理内容の検討、販促、接客にいたる一連の戦術を再考することが急務となっております。

経常利益につきましては、220万円（前期比95.8%、10万円減）となりました。

運営面では、昨年、事業計画に盛り込みました事柄を中心課題に取り組んでまいりました。

料理部門につきましては、一年限定で外から調理師を招聘し、その基本から応用まで改善に努めました。また、ほとんど県外に頼っていた農作物の仕入れを、村内或いは県内にシフトしてまいりました。ただ、なかなか計画的に品物が確保できないため、多い月は仕入れた農産物の約50%を村内で占めるが少ない月は10%にも満たないというのが現状で、今後、安定的に品物の確保をする方法を生産者の皆様のご協力も得ながら考えて更に地産地消を進めてまいります。マネジメント力の強化につきましては、それを学ぶために他社へ出向していた社員の退職で頓挫してしまい、今後、厨房内の人員を確保してから再度強化を図ってまいります。

インターネットの整備につきましては、昨年9月末に新ページを立ち上げ、その後も時季時季にメンテナンスを施し、以前に比べてとても新鮮で、また、予約のしやすいホームページになったとお客様から感想をいただいております。

接客部門につきましては、お客様の要望を細かく把握し、そのことを管理及び料理部門にフィードバックしたり、速やかに具現化できるよう努めるということを目標に掲げましたが、思うように進まず、来期も引き続き課題となりました。

館内修繕等につきましても、利益とのバランスを考えながら・・・と考えておりましたが、冒頭のように売上・利益とも苦戦したため、その多くが来期に持ち越しとなりました。

来期は、経営をさらに安定させるため、今期できなかったこと、継続中のことを行い、お客様に支持をいただき、2期連続減少した売上を回復させることに力を注いでまいります。

皆様方には、一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

1 会 議

(1) 定期株主総会

平成20年9月26日(金) 於 望岳荘大ホール

出席株主数 171人 持株数 1,797株

内本人出席数 27人 持株数 1,267株

委任状出席数 144人 持株数 530株

提出された議案

1号議案 第38期事業報告並びに決算の承認について

2号議案 第39期事業計画(案)について

3号議案 取締役及び監査役報酬限度額の決定について

4号議案 監査役の改選について

(2) 役員会

回数・開催日 4回

9月4日、9月26日、2月25日、4月3日

主な協議事項

○期中営業状況と対策について

○施設の改修について

○人事について

○業務委託契約について

○新規事業について

(3) 監査会

回数・開催日 2回

8月19日、2月4日

2 事業概要

(1) 宿泊及び宴会業務

(2) 日帰り入浴業務

(3) 物品販売及び飲食業務

(4) 蜂博物館の管理業務

(5) 高齢者憩いの家管理業務

(6) 利用者数

期	宿 泊	宴 会	風 呂	蜂博物館	結 婚 式
第 3 8 期	7,515人	10,075人	38,772人	4,752人	5組
第 3 9 期	7,159人	9,239人	39,301人	5,365人	3組
前 期 比	95.3%	91.7%	101.4%	112.9%	△2組

第 3 9 期

決 算 報 告 書

平成 2 0 年 7 月 1 日から

平成 2 1 年 6 月 3 0 日まで

中 川 観 光 開 発 株 式 会 社

貸借対照表

平成21年 6月30日現在

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流動資産 (23,113,579)	I 流動負債 (9,708,800)
現金・預金	21,338,424	買掛金	4,912,100
たな卸資産	1,775,155	短期借入金	1,000,000
		未払法人税等	145,200
		未払消費税等	182,500
		前受	1,451,800
			2,017,200
II 固定資産 (9,912,722)	II 固定負債 (7,141,560)
有形固定資産 (9,690,550)	リース未払金	5,118,000
建物附属設備	2,322,265	長期未払金	2,023,560
車両運搬具	218,570		
器具備品	2,031,715		
リース資産	5,118,000		
負債の部合計 (16,850,360)	
無形固定資産 (212,172)	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	137,188	I 株 主 資 本 (16,175,941)
電話加入権	74,984	1. 資 本 金	21,300,000
投資その他の資産 (10,000)	2. 資 本 剰 余 金 (0)
出 資 金	10,000		
		3. 利 益 剰 余 金 (△	5,124,059)
		(1) その他利益剰余金 (-5,124,059)
		繰越利益剰余金 △	5,124,059
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等 (0)
III 繰 延 資 産 (0)	III 新 株 予 約 権 (0)
資産の部合計		純資産の部合計	
33,026,301		16,175,941	
		負債・純資産の部合計	
		33,026,301	

損 益 計 算 書

平成20年 7月 1日から
平成21年 6月 30日まで
(単位 円)

I 売 上 高			
宿 泊 売 上 高	67,653,778		
宴 会 売 上 高	52,471,134		
風呂売店食堂自販機売上高	46,964,061		
委 託 管 理 収 入	13,563,250	180,652,223	180,652,223
<hr/>			
II 売 上 原 価			
期 首 た な 卸 高		0	
当 期 製 品 製 造 原 価	150,735,817		
合 計	150,735,817		
期 末 た な 卸 高		0	150,735,817
売 上 総 利 益			29,916,406
<hr/>			
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			
販 売 費 ・ 一 般 管 理 費		27,794,159	27,794,159
営 業 利 益			2,122,247
<hr/>			
IV 営 業 外 収 益			
受 取 利 息	61,169		
受 取 配 当 金	400		
雑 収 入	87,815		149,384
<hr/>			
V 営 業 外 費 用			
支 払 利 息	65,806		65,806
<hr/>			
経 常 利 益			2,205,825
<hr/>			
VI 特 別 利 益			
特 別 利 益	0		0
<hr/>			
VII 特 別 損 失			
特 別 損 失	0		0
<hr/>			
税 引 前 当 期 純 利 益			2,205,825
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	182,500		182,500
当 期 純 利 益			2,023,325

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成20年 7月 1日から
平成21年 6月 30日まで

(単位 円)

退職費	614,360
旅費	254,627
広告費	1,392,114
貸付金	860,490
支払手数料	485,784
会費	163,005
給付金	15,554,656
法定福利費	1,697,871
厚生年金	220,020
事務用品	261,643
通信費	794,036
租税公課	3,455,409
接待交際費	3,000
保険料	113,870
備品消耗品費	65,170
管線諸費	216,414
諸費	1,375,500
雑費	187,890
合計	78,300
	27,794,159

製造原価報告書

平成20年 7月 1日から
平成21年 6月 30日まで

(単位 円)

I 材料費	
期首材料たな卸高	1,127,590
材料仕入高	22,932,122
商品仕入高	19,136,382
合計	43,196,094
期末材料たな卸高	588,002
当期材料費	42,608,092
II 労務費	
給料手当	30,352,164
雑給	13,932,505
法定福利費	4,536,337
厚生費	632,117
当期労務費	49,513,123
III 経費	
外注委託費	10,224,962
電力料	11,156,976
燃料費	10,190,111
水道料	6,180,532
水道償却費	2,290,514
減価償却費	3,947,642
賃借料	5,113,681
消耗品費	5,836,945
車両諸掛費	2,915,414
ごみ処理費	540,020
雑費	217,805
当期経費	58,614,602
当期総製造費用	150,735,817
期首仕掛品たな卸高	0
合計	150,735,817
期末仕掛品たな卸高	0
当期製品製造原価	150,735,817

たな卸資産の計算内訳

平成21年 6月 30日現在

(単位 円)

商品・原材料	588,002
貯蔵品	610,823
合計	1,198,825

株主資本等変動計算書

商号 中川観光開発 株式会社

平成20年 7月 1日から
平成21年 6月30日まで
(単位 円)

I 株 主 資 本			
1. 資 本 金	前期末残高		21,300,000
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>21,300,000</u>
2. 利 益 剰 余 金			
(1) その 他 利 益 剰 余 金			
繰越利益剰余金	前期末残高		-7,147,384
	当期変動額		
	当期純利益	<u>2,023,325</u>	<u>2,023,325</u>
	当期末残高		<u>-5,124,059</u>
その他利益剰余金合計	前期末残高		-7,147,384
	当期変動額		
	当期純利益	<u>2,023,325</u>	<u>2,023,325</u>
	当期末残高		<u>-5,124,059</u>
株 主 資 本 合 計	前期末残高		14,152,616
	当期変動額		
	当期純利益	<u>2,023,325</u>	<u>2,023,325</u>
	当期末残高		<u>16,175,941</u>
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	前期末残高		0
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>0</u>
III 新 株 予 約 権	前期末残高		0
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>0</u>
純 資 産 の 部 合 計	前期末残高		14,152,616
	当期変動額		
	当期純利益	<u>2,023,325</u>	<u>2,023,325</u>
	当期末残高		<u>16,175,941</u>

個別注記表

平成20年 7月 1日から
平成21年 6月 30日まで

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用しております。
2. 固定資産の減価償却方法
 - (1)有形固定資産
法人税法の規定に基づく定率法又は旧定率法を採用しております。
なお、平成18年7月1日以後に取得した取得価額30万円未満の資産については、取得時に費用処理しております。
 - (2)無形固定資産
法人税法の規定に基づく定額法又は旧定額法を採用しております。
 - (3)リース資産
法人税法の規定に基づくリース期間定額法を採用しております。
3. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

II. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 43,148,058円

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 2,130株

IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、7,594.33円であります。
2. 一株当たり当期純利益は、949.91円であります。

以 上

損失処理計算書

(単位：円)

I 当期末処理損失		5,124,059
III 損失処理額		
		0
III 次期繰越損失		<u>5,124,059</u>

以上のとおり提出する。

平成 21 年 9 月 30 日

商 号 中川観光開発 株式会社

代表取締役	曾我 逸郎	専務取締役	市瀬 英治
専務取締役	片田 秀昭	取 締 役	前原 茂之
取 締 役	富永 和典	取 締 役	宮下 進
取 締 役	平沢 和雄	取 締 役	松下 昌嵩

監査の結果、貸借対照表、損益計算書および利益処分について、いずれも適法かつ正確であることを認める。

平成 21 年 9 月 30 日

監 査 役	松村 隆一	監 査 役	富永 松雄
-------	-------	-------	-------

中川観光株式会社

代表取締役 曾 我 逸 郎 様

平成 21 年 8 月 21 日

監査役 富永 松雄



監査役 松村 隆一



第 39 期 事業年度監査結果報告書

第 39 期事業年度監査を下記のとおり実施しました。その結果を次の通り報告します。

記

1 実施年月日 平成 21 年 8 月 21 日 (金)

2 監査結果

期末決算に関する 6 月末現在の、関係帳簿及び証拠書類の処理は、担当会計事務所に
より PC 管理されており、補助簿とも正確かつ適切に処理されていることを認めた。

3 監査所見

① 今期の総売上額は、18,065 万円となり、対前年度比 97.05%で 548 万円の減となり、
経常利益は 220 万円で同比 95.78%、10 万円の減となった。

宿泊部門では、対前年比 235 万円の減、宴会部門では、対前年度比 632 万円の減と
なった。

② 売上原価は、材料費で削減の努力が認められ、労務費は社員の移動等により、対前
年比 213 万円の増となった。経費の中の燃料費は 72 万円の減・電力費は 80 万円の
増となっており、今後の原油価格の動向が心配されます。修繕費は前年度とほぼ同額
となっているが、浴室天井・竹垣の改修が村負担で施工され、単独で施工する床工事
等が残っている。今後も改修は出てくるが時に応じて適切に対処されたい。

③ お客様の旅行形態が変わり、団体旅行は極端に減少し、夫婦・友達等の少数旅行が
主流となり、宿泊施設の予約もインターネット利用が主流となっているので、魅力
あるホームページ作りと内容の更新をこまめに行い、顧客の獲得に努力されたい。

今期も、宴会売り上げが減収となっている。客単価の引き下げ要望もあり、対応
が難しい点もあるが料理の内容に工夫をし、客数の確保に努力されたい。

④ 従業員の制服に工夫が欲しい。(客室作業員が私服勤務である)

第2号議案

第40期 自 平成21年7月1日 事業計画（案）
至 平成22年6月30日

第40期につきましては、前期に引き続き、料理・接客部門の改善を行ってまいります。また、望岳荘の運営以外に農産物にかかわる事業を立ち上げたいと考えております。

料理部門につきましては、39期事業報告にもありましたように、さらに地産地消をすすめるための方法を考え、また、前期に計画したもののほとんど着手できなかった食材全般の仕入れの見直しを行い、食材原価率を約3%（約220万円）下げる努力をしてまいります。

接客部門につきましては、お客様の要望を細かく把握しそのことを管理及び料理部門にフィードバックし改善・実行までスピーディーに行えるようにいたします。

そして、農産物にかかわる事業の立ち上げですが、村内農家の中には、質が高く、また、有機農法等により特色がありかつ安全性の高い農産物を生産している方がおられる一方、その生産物のブランド化、商品化、加工、販路開拓等が確立されていないため、農業が衰退し、また、魅力に乏しく収入面も不安定なため新規就農者が少なく高齢化が進んでいる現状があります。

そこで、今回の事業では、生産者の方々と一緒になって農産物の付加価値を高め、販売に結び付けていくコーディネーター・プランナー・ディストリビューターとして村内農業活性化の一翼を担いたいと考えております。この事業については、2年半を目途にこのことに携わる従業員の人件費を利益でまかなえるまでもっていくことを第1段階の目標にしてまいります。

以上のように、望岳荘についてはさらに内部の細かい部分の改善を行い、お客様にご支持いただけるよう常に上を目指し、また、新規事業で望岳荘内にとどまらない会社の可能性を追い求めたいと考えます。

おかげさまで40期の節目の年を迎えることができます。地元には宴会企画などそれにふさわしい内容を考え力を注いでまいりますと同時に、県外には「日本で最も美しい村」をアピールできるようホームページ等で工夫してまいります。

引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

目 標

単位：千円

区 分	第40期計画	第39期実績
宿 泊	69,700	67,654
宴 会	51,300	52,471
そ の 他	49,200	46,964
委 託 収 入	13,453	13,563
純 売 上 高	183,653	180,652
製 造 原 価	151,456	150,736
売 上 総 利 益	32,197	29,916
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	30,713	27,794
営 業 利 益	1,484	2,122
営 業 外 (収 益)	106	149
経 常 利 益	1,590	2,271
特 別 損 益	△ 90	△ 66
税 引 前 当 期 利 益	1,500	2,206
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	180	183
当 期 利 益	1,320	2,023

第3号議案

取締役及び監査役報酬限度額の決定について

今期取締役報酬の額を400,000円以内として、支払の方法は取締役会に一任する。

今期監査役報酬の額を100,000円以内として、支払い方法は取締役会に一任する。

第4号議案

取締役の改選について

定款第20条の規定に従い取締役の任期が満了となるため、同第18条及び第19条の規定に基づく取締役の選任を求める。

役職	氏名
取締役	
〃	
〃	
〃	
〃	
〃	
〃	
〃	
〃	
〃	

